

107人が成人の仲間入り

1月13日(日)、町民文化センター大ホールで成人式が開催され、107人(男性49人、女性58人)の新成人が誕生しました。午前10時からの式典で



祝松田町成人式

新成人のごとば

柳生 大輔さん



本日は私たちの成人の門出に際し、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。温かいお言葉をくださった町長をはじめ、ご来賓の方々、お忙しいなか多数ご出席いただきました皆さまに、新成人を代表して心より感謝を申し上げます。ご指導いただきました

平成25年

成人式

家族や先生方、地域の皆さまに、本日私たちが無事成人を迎えたことを報告するとともに、新成人一同の感謝の気持ちを伝えたいと思います。今、「成人」という人生で初めての大きな節目を迎え、さまざまな思いが入り交じっております。その中で私が最も強く感じることは、20年間ここまで育ててくださった親への感謝の気持ちです。私事ではありますが、私の両親は私をとても自由を育ててくれました。私が何をすればいいのか、すべてを指示することせず、自分で答えを出す

両親と町への恩返しを

まで見守っていただきました。自分がさまざまな場面で、実力以上の力を出すことができたのも両親のおかげだと思っています。成人を迎え、少しずつ恩返しをしていくことができたらと考えています。これから社会に出ていく私たちの中には、きつとこの松田町を離れ、遠くで活躍する仲間も出てくることと思います。しかし、どんな出来事を経験しても、松田町で過ごした日々、私たちのふるさとの松田町を忘れることはありません。それぞれ一人ひとりが持つ



▲新成人の川口愛莉紗さん(左)と渋谷瑠美さんが司会を務めました

さまざまな能力や個性を生かして社会に貢献し、ここまで私たちが育ててくださった松田町に恩返しができるよう精進を続けていきたいと思っています。これからはどうか温かく見守っていただきます。本日は本当にありがとうございました。



▲友達同士でポーズ

際、自分自身がこの節目に立って、「大人」になることはとても難しいことなのだと感じました。同級生の中には、専門学校や大学に行き、専門的なことを学んでいる人、すでに社会に出て働いている人、みんなそれぞれ目標に向かって考え、大人としての自覚、そして、これからの自分の生活行動に責任を持つなど、社会のルールを守り、自分が理想とする大人になるために頑張っています。以前テレビで、「20歳はスタートラインにすぎない」と言っていました。そのスタートラインに立った私たちは、少しずつですが、目標とする自分を探し、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えていければと思っています。まだまだ未熟な私たちです。失敗もまだまだ多々あり、迷惑を掛けてしまうこともあると思います。しかし、日々勉強と思いつつ、精進していきますので、これからも温かく見守ってください。

二十歳の抱負

井上 桃華さん



本日は私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、まことにありがとうございます。今日というこの日を無事に迎えることができ、とてもうれしく思います。また、町長をはじめ、ご来賓の方々から激励のお言葉をいただき、身の引き締まる思いでございます。ご出席いただきました皆さまに、新成人を代表して心より感謝申し上げます。

私たちは、二十歳という年齢を迎え、大人として認められることになりました。けれど「大人とは何だろうか?」まわりの人たちからは、今までと違う目で見られるのだろうか?と不安がいくつも出てきます。二十歳になったからといって、急に自分を変えることは困難であり、今すぐ自立することはできないと思います。子どもの頃は、「早く大人になりたい」と思っていました。実

難しい「大人になること」

際、自分自身がこの節目に立って、「大人」になることはとても難しいことなのだと感じました。同級生の中には、専門学校や大学に行き、専門的なことを学んでいる人、すでに社会に出て働いている人、みんなそれぞれ目標に向かって考え、大人としての自覚、そして、これからの自分の生活行動に責任を持つなど、社会のルールを守り、自分が理想とする大人になるために頑張っています。以前テレビで、「20歳はスタートラインにすぎない」と言っていました。そのスタートラインに立った私たちは、少しずつですが、目標とする自分を探し、お世話になった人たちに感謝の気持ちを伝えていければと思っています。まだまだ未熟な私たちです。失敗もまだまだ多々あり、迷惑を掛けてしまうこともあると思います。しかし、日々勉強と思いつつ、精進していきますので、これからも温かく見守ってください。

まつだの四季フォトコンテスト

応募締め切りは 2/22(金)

町では、町の大切な歴史・文化や安らぎと潤いのある四季の風景を通して町の良さを再認識・再発見することを目的に「まつだの四季フォトコンテスト」を開催します。1月末の応募締め切りを2月22日(金)まで延長し、さらに多くの作品を募集します。

- ◆主催 松田町
- ◆賞
 - 推薦1点 20,000円
 - 特選2点 各10,000円
 - 入選6点 各5,000円
 - 佳作10点 各3,000円
- ◆受付期間 2月22日(金)締め切り、必着
直接窓口への応募は土、日、祝日を除く平日の午前8時30分～午後5時15分
- ◆応募資格 アマチュアの方限定
- ◆対象
 - ・平成24年1月以降に撮影した、松田町の四季をテーマにした作品。
 - ・大きさは2L判。デジタル写真も可。画質は1000万画素以上のもの。
 - ・合成写真、組み写真、デジタル加工は不可。



23年度の特選作「延命寺のお焚きあげ」

- ◆応募方法 町ホームページにある応募票を印刷し、必要事項を記載のうえ各作品に貼り付けてご応募ください。応募票が入手できない場合は、氏名(フリガナ)、年齢、性別、住所、電話番号、メールアドレス、題名、撮影場所、撮影年月日を記載した用紙を各作品の裏側に貼ってご応募ください。
※応募票か必要事項がない作品は、審査対象外となります
※作品は原則返却しません
- ◆結果発表 4月1日(広報まつだ、町のホームページ)
- ◆応募先 まつだの四季フォトコンテスト事務局宛(町企画財政課企画係)〒258-8585 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領2037 ☎0465(83)1222 メールアドレス: kikaku@town.matsuda.kanagawa.jp